食品総合研究所だより

第5号　平成23年11月1日発行

※左図は地方独立行政法人青森県産業技術センター（AITC は略称）のシンボルマークです

八戸前沖さば粗脂肪分析再開！

～3．11 東日本大震災から一部復旧～

未曽有の大災害をもたらした東日本大震災から早8カ月が経とうとしています。太平洋沿岸部の施設は軒並み壊滅的な被害を受けました。当研究所においても、1階にあった全ての加工・分析・事務機器を流失しましたが、震災発生半年後の9月には実験室の一部と事務室が復旧し、これを機に八戸前沖さばの粗脂肪測定等の一部業務を再開しました。来年の3月までには加工場を含めた全面復旧を目指しています。

このたびの被災復旧にあたり、地域の水産加工業者、水産関係者、八戸商工会議所、八戸市の方々から数多くの御支援をいただきました。この御支援に報いるためにも、地域に密着した食品産業振興支援機能を発揮し、被災地域の一日も早い経済復興と県内水産加工業の振興に一層尽力していきますので、今後ともよろしくお願いします。

平成２３年度の体制

【所長あいさつ】

東日本大震災直後の3月13日に食品総合研究所まで来ましたが、あまりの被害の大きさに途方に暮れたことを記憶しています。4月1日に着任後、第一に感じたのは所員の復旧に向けた意志の強さです。また、何よりも力を得たのは、地域の方々からの支援です。この場所で一日も早い復旧を図り、地道に泥臭く、地域の食品産業振興のために所員一同努力していく所存です。

※青字は転入者あるいは採用者

理事兼所長　山日　達道（下北ブランド研究所から）

企画経営監　成田　清一

企画経営担当　若本主任研究員（三八地域県民局地域農林水産部から）

総務調整室　室 長　太田　貞春

岩本主査、吉田事務専門員、大柳非常勤事務員

水産食品開発部　部 長　今井美代子（鰺ヶ沢水産事務所から）

角研究管理員、小野寺主任研究員（育児休業中）、大澤研究員、
池田臨時労務手、三浦外部資金研究員、金澤非常勤労務員

水産食品化学部　部 長　松原　久

鈴木研究員（水産総合研究所から）、木村研究員（鰺ヶ沢水産事務所から）、
阿部非常勤労務員、渡辺非常勤労務員

◆転出者

理事兼所長：永峰文洋（水産総合研究所へ）、企画経営監：石川哲（下北ブランド研究所へ）
研究管理員：中村靖人（下北ブランド研究所へ）、主任研究員：髙田睦（県総合販売戦略課へ）、
主任研究員：白板孝朗（三八地域県民局地域農林水産部八戸水産事務所へ）

「青い森の良品発掘コンテスト」結果

▼青森県産業技術センターは、地域企業の販売意欲向上を目的に、今年初の取組となる第1回「青い森の良品発掘コンテスト」を行いました。コンテストでは、県内で製造された製品（商品化されていないものも含む）を対象に、加工食品部門とデザイン部門の2部門で募集を行いました。▼㈱キャメル珈琲エグゼクティブアドバイザーの比良木高幸氏を審査委員長とする5名の外部選定委員が審査を行いました。▼加工食品部門では、高品質感があり、ノンアルコール需要拡大が期待されるとして「シャイニースパークリングアップルジュース」（青森県りんごジュース㈱）が大賞に、八戸の真鯖を地元の本醸造醤油で味付けし、素材の味・旨さを生かした「真鯖【味付】」缶詰（㈱宝幸八戸工場）が準大賞に、良い香りと食感を実現した「焼さば飯の素」（㈱ヤイチ）等3品が入賞しました。▼これらの商品は、選定委員から個別のアドバイスを受けるとともに、青森県産業技術センターから支援を行い、さらなる商品改良、販路拡大を目指していきます。

食品総合研究所だより

第5号　平成23年11月　1日

編集・発行
地方独立行政法人　青森県産業技術センター
食品総合研究所
〒031-0831　青森県八戸市築港街二丁目10番地
TEL　0178-33-1347／FAX　0178-33-0321
http://www.aomori-itc.or.jp